ブラジル朝日新聞
Sr. Kobayashi Midori
R. Galvão Bueno, 407
（毎日伯新聞）
伯國聖市マエストロカルデン街一一〇九
発行所 ブラジル朝日新聞社
本紙定價年六十ミル
外國郵税共百廿ミル

マークを見たら
コロムビア

わが方針に影響なし
米今後の極東政策嚴視
帝國政府、既に万全の對策
ル大統領三選の反響

【東京七日同盟】各紙所報、ルーズベルト現大統領は三度び大統領に選擧されることとなり、米國建國以來の政治的傳統もこゝに崩壊したが、これはとりも直さず米國民が歐洲戰爭の最近の進展によつて異常な恐怖を受けルーズベルト氏の經驗と試驗濟みの手腕に依賴したものがあり、またルーズベルト大統領の干渉外交を承認したことを意味すゝ、しかし帝國政府としては既に日獨伊三國條約の締結によつてその外交方針は確立してゐるのであつて、ルーズベルト氏が三選されようが、ウイルキー氏が選出されようが、わが方の既定外交方針はいさゝかも影響を受けるものでなく、三國同盟の根本趣旨に基いて東亞共榮圏の確立とともに世界新秩序の建設に邁進し米國今後の極東政策の歸趨を注視するのみであるとしてゐる

經濟壓迫を豫測
財界方面も對策練る

【東京六日同盟】ルーズベルト氏の三選が確定したとの報に對しわが財界の觀測は大要左の如くである

即ちルーズベルト氏の三選により帝國の對極東政策は益々強化すると見るのが妥當で、從つて今後における米國の對日經濟壓迫の如きも例へば銅の禁輸或ひは生糸不買などの措置を講ずることも予測出來るのであるが、一方わが方としては右の米國の對極東政策を顧慮することなく、日滿支三國の計畫經濟を核心とする東亞共榮圏の確立に邁進するのみであるとしてゐる

米の參戰氣構へと
中支との經濟關係
米國業者引揚げ氣配

【上海七日同盟】ルーズベルト氏三選が支那經濟界に對する影響に關し中支方面の意見を綜合するに

一、米國の極東政策は一段と積極的になるは當然であり對重慶援助はさらに強化され、金融的乃至物質的援助は增大するであらう、しかし乍ら米國の參戰氣構へは中支と米國との經濟的關係を益々稀薄ならしめ、わが方の中支における統制強化と相俟つて中支の米國業者引揚げも漸次濃厚となることが予想され、また對重慶援助が強化される結果法幣に對して心理的な好影響を齎すのは當然で、上海爲替市場における米ドルの賣物は今後增大するものと見られ、從つて法幣の一時的强調の要因となるであらう

對蔣援助の積極化
重慶側全幅の期待
親米派擧げて狂喜

【香港七日同盟】ルーズベルト氏の三期大統領當選の報は重慶各界特に親米派を狂喜せしめてゐるが、孔祥熙は六日午後米支文化協會主催でジョンソン米大使を招宴中ルーズベルト氏の當選が報ぜられたことを發表し米に外交政策の積極化を期待した

對英援助强化へ
米の動向は明瞭
齒牙にもかけぬ獨官邊

【ベルリン五日同盟】米國の大統領選擧戰には獨官邊も言論界も極めて無關心な態度で終始してゐるが、ルーズベルト三選に對する獨政界一般の意向を綜合すれば次の通りである

一、ルーズベルト大統領は今後更にその對英援助政策を明確にするだらう

一、しかし參戰廻避を言明した手前直ちに實力介入の擧には出でまい、現在の援助を强化、機を見てその方針を强化しよう

一、ドイツは米國に對し從來極めて消極的な方針を示して來たが、米國の態度が今後一層對獨挑戰的となり、歐洲新秩序の再建を飽迄妨害せんとするならば獨伊としてはこれを默視するわけには行かぬ

一、今日まで米國の動向に對する判斷は選擧戰對策といふレンズを透して見る必要があつたが、すでにその必要がなくなつた以上米國の態度も明瞭になり、ドイツの對策もはつきりするだらう

參戰に愈よ拍車
早晩伊の敵國へ
イタリア政界の觀測

【ローマ六日同盟】ローマ政界消息通はルーズベルト三選に對するイタリアの態度を左の如く述べてゐる

ルーズベルトの三選により米國内の戰爭熱は引き續き拍車をかけられることになつた、米國が今直ちに英國側に立つて參戰することは考へられないが、結局米國はイタリアの敵となることは免れないところである

他國の國内問題
わが方に關係ない
馬耳東風の佛政府

【ヴイシー六日同盟】ルーズベルト三選の報に對し佛政府スポークスマンは六日午前佛政府は全く關心を有せずと左の如く語つた

佛政府は米國大統領選擧に少しも興味を持つてゐない、米國の國内問題の如きは新歐洲の建設に液頭してゐるわれ〳〵の關心を惹かないのだ、ルーズベルト大統領は曾てはフランスの友人であつたことがあるが、今日ではルーズベルト、ウイルキー何れが當選しても

政府と國民は一體
一路外交の協力へ
ハル國務長官の聲明

【ワシントン六日同盟】ハル國務長官は六日大統領選擧後はじめて記者團と會見、左の如き聲明を發表した

現在の危局にあつてわれわれに課せられた重大な責任觀念は選擧の結果に對する凡ゆる意味の個人的喜悅に優先すべきである、いまやこの選擧も終了し政府と國民とがわが外交政策の確固たる遂行に當り實際的に完全なチームワークをとつて前進し得ることゝなつたのである、この進路とそはわが國及び世界各國の死活的利益保護のためわが國が邁進する上に極めて大きな寄與をなすものである、こゝにおいて余は超黨派的精神をもつて米國民の平和と安全と福祉とを意味する計畫原則ならびに實際的方策を成功に導くべく、上下一致努力せられんことを再び要請せんとするものである

われ〳〵には同じである

陪都の建設へ
孔祥熙、委員長に就任

【香港七日同盟】重慶來電によれば五日の行政院會議で孔祥熙は陪都建設計畫委員會主任委員に蔣鍾岳及び楊匡漢が同副主任委員に任命された

僅か數時間の戰鬪
英機廿一を血祭り
優秀を誇る獨戰鬪機

【ベルリン六日同盟】獨空軍の對英攻擊は引き續き行はれてゐるが、DNB通信社は五日の戰果につき六日次の如く發表、獨空軍の精鋭振りを誇つてゐる

わが空軍は五日ロンドン及びイングランド南部の補給施設、鐵道、港灣施設などを主目標とする基本土壌爆を行つた、この間わが驅逐機と英戰鬪機の間に各所で空中戰が行はれたが、わが驅逐機隊はまた〳〵その優秀、速度、就中操縱士の優勢を示し僅か數時間の間に英戰鬪機廿一機を擊墜するといふ戰果を擧げた、しかしわが方もまた六機を失つた

希臘軍の反擊制し
伊軍いよ〳〵活潑
ギ空軍もナポリ襲ふ

【ローマ六日同盟】伊軍司令部六日發表、ギリシヤ軍はギリシヤ、ユーゴ、アルバニアの三國々境のプレスバ湖を渡つて攻擊し來つたが、伊軍はこれを擊退、同湖中の地境を遮斷した、また伊空軍はフロリナを襲ひ同地の停車場を爆擊すると共に鐵道線路を遮斷、さらにペロポネソス半島西南岸のナパリのアテネ附近のピレウス、ユーゴ、アルバニア國境地帯及びコルフ島の軍事目標を猛爆した、他方中部地中海において英潛水艦一隻を擊退、同湖中の地境を遮斷した、また伊空軍はフロリナを襲ひ同地の停車場を爆擊すると共に鐵道線路を遮斷、さらにペロポネソス半島西南岸のナパリのアテネ附近のピレウス、ユーゴ、アルバニア國境地帯及びコルフ島の軍事目標を猛爆した、他方中部地中海において英潛水艦一隻を擊退せんとしたが伊海軍は直ちにこれを擊退した、ギリシヤ空軍もまたナポリ空襲を企圖したが高射砲隊により擊退され、備蓄の如き聲明を發表した

香港在留の英人へ
引揚げ命令を撤回
本國政府、政廳に訓令

【香港六日同盟】香港政廳は六日午前本國植民省からの訓令にもとづき英國人引揚げ命令を撤回する旨正式發表した、尤も今回の命令は現在の香港に在留するものに限り適用するもので、今までに香港外に撤退を終了してゐる婦女子に對しては香港歸還禁止が解除されない、香港の在留英人婦女子は去る七月一日を第一回として以後數回にわたり行はれ、合計約三千名が濠洲その他に撤退を終へてをり、現在殘つてゐるものは約三百名、その中さらに五十名が政廳の命令により今週末濠洲に向ふ豫定となつてゐた

壓倒的勝利占め
ル大統領當選決る
開票最終の結果發表

【ニューヨーク六日同盟】世界注視の米大統領選擧は開票の結果壓倒的大多數でルーズベルト大統領の三選が確定した

【ニューヨーク六日同盟】〈日本時間午後十時〉現在における大統領、兩院議員、州知事選擧開票の結果、左の通り大統領ルーズベルト（卅七州、選擧人數四三七）ウイルキー（十一州選擧人數九四）を獲得、一般投票數一七、七四〇、二八一

下院議員民主黨二三七、共和黨一一七、上院議員民主黨一六、共和黨七、州知事民主黨九、共和黨六で いづれも民主黨が壓倒的優勢を示してゐる

六日午后五時

中間收計

【ニューヨーク六日同盟】大統領選擧の開票結果は昨夜半以來十五回の中間收計により漸次ルーズベルトの壓倒的優勢を示し、六日午後五時發表のものは投票總數の約九割を含み最終結果と殆んど同樣の意義を有するもので、その開票結果左の通り（ルーズベルト ウイルキーの順）

獲得州數卅九、九、エレクトラル・ポート四六八、六三、一般投票數二一四、三六三選擧、二〇、二八一選票

【ニューヨーク六日同盟】六日午後五時までに判明した上下兩院議員と州知事選擧の結果左の通り

上院議員

一、民主黨當選廿一名、任期未了四十四名合計六十五名となり、過半數四十名を完全に超過

一、共和黨當選十名、任期未了十五名、決定濟み（十月にメイン州選擧）一名合計廿六名となり、選擧前廿四名より二名增加

一、進步黨當選一名

下院議員

一、民主黨二百五十四名當選定員過半數二百十八名を完全に突破

一、共和黨當選百四十六名

一、米國勞働黨、進步黨、獨立民主黨各一名

州知事

六日改選の三十三州中六日午後五時までの當選、民主黨十六名、共和黨十名未了十四名合計六十五名となり、過半數四十名を完全に超過

一、共和黨當選十名、任期未了十五名、決定濟み（十月にメイン州選擧）一名合計廿六名となり、選擧前廿四名より二名增加

一、進步黨當選一名

下院議員

一、民主黨二百五十四名當選定員過半數二百十八名を完全に突破

一、共和黨當選百四十六名

一、米國勞働黨、進步黨、獨立民主黨各一名

州知事

六日改選の三十三州中六日午後五時までの當選、民主黨十六名、共和黨十名

トピック解剖

今後はどう出る
先づ軍擴に狂奔
三選後のル大統領政策

【ニューヨーク六日同盟】ルーズベルト大統領が前例を破つて、三度ホワイトハウスの主となつてからの出方については數說があるが、大體當方は從來と同樣の步を踏み對英援助、西半球防衛の看板のもとに軍備擴張に拍車をかけるものと見られるしかして軍部が一段落したところで、その時の情勢に應じて平和會議なりに乘り出すのではないかと見られてゐる

ル大統領當選と
列國への反響

ルーズヴエルト大統領がアメリカの傳統を破つて三選された事實に對して最も歡喜したのはいふまでもなくイギリスである、それは民主主義國家の一つとして樞軸國家に對する鬪爭が從來よりも强化されるであらうといふ同情によるものである、伊太利は從來ルーズベルトに對する最大の表現をもつてゐる、そのイギリスは殺かにアメリカのより强く、より大なる援助を待望してゐるからである、イギリスの歡喜は直ちに市場へも反映した、公債は奔騰し工業株は暴騰を示した、イギリス各紙はル大統領の當選をもつて、ベルリンはまた不吉なる陰影を濃くした、アメリカの國境はテムズ河にある、ヒトラーに對する反對投票である、などゝ最大の表現をもつてゐる、それでは樞軸側はどうかといふに、伊はともル大統領の當選は單にアメリカの國内問題であつて、フランスの問題ではない、アメリカは嘗つてはフランスの友人であつたが、只今では事情が違つてゐるといつてゐる、將介石政權は勿論イギリス以上に歡んでゐる、親獨派ぬ、獨伊が企圖する歐洲新秩序建設を妨ぐるならば、戰爭は不可避であると見てゐる模樣である、フランスは輝く拔つて、ル大統領の當選は單にアメリカの國内問題であつて、フランスの問題ではない、アメリカは嘗つてはフランスの友人であつたが、只今では事情が違つてゐるといつてゐる、將介石政權は勿論イギリス以上に歡んでゐる、親獨派の權頭によつて一時勢力を得た和平論を破碎し、親英米滅の抗戰意識がまたもや旺盛となりつゝあるは疑ひない、汪政權は既にアメリカの對支經濟壓迫を覺悟し却つて日滿支經濟强化に邁進の步調を示しつゝある、日本の朝野における意向もル大統領の三選は必至と觀てゐただけに、その實現に遭つても別に變つた觀察は見られない、對極東政策の强化、對英援助の積極化は當然と見て、それから生ずべき事態の進展如何によつては國家最大の危局に立つことあるべきを覺悟せねばならぬといふに一致してゐる、ソ聯は相變らずモナ・リザの微笑をたゝへつゝ、一言の批判をも示してゐないが、アメリカの歐洲事局介入の程度如何を愼重に見守つてゐることだけは確かである、ルーズヴエルト大統領はかつて屢々、對英援助は精神的物質的の範圍において最大、最善をつくすが、武力をもつて直接戰爭に介入することは絶力これを避けるといふ意味を言明してゐる、この言明が對選擧戰政策に出もたのか、或はまた眞實その對外政策を表明したものか、それは全く時日がこれを解決するであらう

郵船伏見丸
紐育に向ふ

【ロンドン六日同盟】歐洲航路に伊領東端のレッチエ その他に爆彈を投下したのみである

孔子第七十二代の子孫
晴れの式典に參加
湯島の聖堂でまづ感激の涙

【東京七日同盟】紀元二千六百年の奉祝式典に參列する滿洲國代表張國務總理、李交通部大臣、皆川共和會總務部長、中銀總裁以下百五十名の使節團は六日午前八時大連丸で來朝、直ちに門司市並に商工會議所共同主催の歡迎茶話會に臨んだ、午後一時同船で神戸經由東上する

式典に參列
板垣中將歸還

【福岡七日同盟】支那派遣軍總參謀長板垣征四郎中將は紀元二千六百年式典參列のため十日正午門司上海より福岡着少憩の後東上した

華北訪日記者團
帝都を訪問
靖國神社に參拜

【東京七日同盟】來朝第二日を迎へた華北訪日記者團は十日午前九時半横濱より來京、まづ靖國神社に參拜、遊就館を見學したのち軍人會館で小憩、午後はさらに海軍館を見學して明治神宮に參拜、明治大帝の御遺德を偲び奉り第二日の日程を終へ夕刻横濱の宿舍に入つた

東亞海運重役會

【東京七日同盟】東亞海運では六日本社に重役會を開き、當期利益金處分案（初配當年四分）を左のとおり査定、來る廿六日開催の定時株主總會に附議する（單位千圓）

當期利益金	二、四三〇
前期繰越高	一、二八四
合計	三、七一四
この處分準備積立金	一三〇
設備擴充積保金	七〇〇
退職手當積立金	一〇〇
配當金（年四分）	四、六〇〇
當期繰越金	一、三二六

輝くドイツ海軍
開戰以來の戰果
擊沈英船七一六万噸

【ベルリン六日同盟】獨軍司令部は六日獨潛水艦の活躍につき九月始めより十月の二ケ月間における獨潛水艦の敵商船擊沈噸數は合計百三十萬八千六百トンに達し、これにより開戰以來の擊沈噸數總計は七百十六万二千二百トンとなつたと發表した

奇怪、英米系の援蔣行爲
西貢(サイゴン)を根城に益々跳梁
我方、ドクー總督に絶滅要求

【ハノイ六日同盟】蒋軍の佛印進駐以來重慶の抗日華僑および英米系勢力などは相次いでサイゴンの佛印ユダヤ財閥と結托して新秩序を妨害する實狀にあり、佛印の援蔣據點は全く東京州から移りサイゴンの援蔣行爲は日を逐ふて露骨化しつゝあるので、在ハノイ隅田監視委員長は本日午後五時ドクー佛印總督を訪問、サイゴンの援蔣行爲禁絶に對し佛印の協力方を要求した、これに對しドクー總督はサイゴン方面の援蔣行爲については佛印當局として全責任をもつて絶滅を期してゐる旨を回答、わが方の要求に對しては即答を避けたが、わが現地當局としては飽くまで要求貫徹を期するものと見られてゐる

文化の交流を圖り
新秩序建設に貢献
東亞大都市聯盟 宣言要旨

【東京七日同盟】日華支三國において日本側東京、大阪、名古屋、京都、神戸、横濱の各市長、京城、釜山、平壌、台北の各府縣をはじめ人口廿万以上の廿四都市代表八十四名大都市聯盟大會第一日は、七日午前十時東京市會議事堂に於、濟、南、漢口、廣東、杭州、蘇州、上海、青島、厦門、張家口の各市長代理關係者ら五十九名出頭、開會式を終り、直ちに東京會館における發企六大都市主催參列意義深い開會式を擧行した、開會は松永東京市會議長の開會の挨拶に始まり、大久保東京市長を議長に出席都市代表者招會、聯盟事務總長橋本東京市助役の經過報告、發企都市代表上京各市長の挨拶、首相代理須磨情報部長の祝辞があり、續いて坂間大阪市長左萬蔵の宣言文を朗讀、都市聯盟の宣言を斉唱して十一時四十分の午餐會に臨んだ

宣言 世界は擧げて動亂の坩堝と化し、歴史は正に轉古の相會する日滿華の大都市は、その政治、經済、文化の中樞たる地位に鑑みいよ／／進んで文化の交流を圖りもつて國民外交の實を擧げ、東亞新秩序の建設と併せて世界平和の確立に貢献せんことを期す

皇后陛下の御仁慈
菊の切花御下賜

【東京七日同盟】皇后陛下には名誉の第傷病者御慰問のため七日陸海軍病院に奉宿御苑の菊の切花千二百本を賜はる旨有難き御沙汰あらせられた三木陸軍醫務局長、伊藤海軍人事局長は午前十時皇后宮職に出頭、廣幡皇后宮大夫を經て拜受、御仁慈の程に恐懼感激して退出した

近江神社
御鎮座祭
天智天皇御靈廟

【大津七日同盟】天智天皇の御靈魂を鎮き祀る近江神社御鎮座祭は七日午前九時から勅使小出掌典參向のもとに安井内相、飯沼神社局長、近藤滋賀縣知事、小林鉾鶏鎮守府司令長官ら五百餘名參列厳かに執り行はせられた

汪氏を首班に驀進
新政府の發展狀況
林宣傳部長、復興を語る

汪精衛氏を首班とする日華新政府は去る三月三十日遷都して以來日に浅いに拘らず、着々建設を進めて健全なる發達を遂げつゝあるが、宣傳部長林柏生氏は上海記者團と會見に際し遷都以來の國民政府の發展狀況に觀いて左の如く答へてゐる

最近の國民政府 一、民心が還都後の中央政府に歸向し和平を望んでゐる事は人口、産業、經済の動態、志士の向背等に見ても證明される、即ち廣東の人口は僅か四十万に減少したが、政府還都後の今日では八十万に増加し、首都南京の如きは特に顕著で今や七十五万の大都會となり、同樣の例は枚擧に遑がない、又軍變以來百年疎弊し殊に占領地は甚しかつたが、今や各地の商工業が漸次原狀に復し製絲工場の一例を採つても上海四十三、蘇錫四十を初め百二十に上り、小工場に至つては四百五十餘に達した、廣東方面に於ても同樣である、次ぎに上海に於ては資金が上海に停滯してゐたが今や內地投資も可能となり首都に集つて來た、南京の銀行中復業したものも新設されたものもある、最初注目常に和平を主張した際は同志數名に過ぎなかつたが今や怒濤の勢を示してゐる

資金

一、政府の軍事方面に對する措置 撫により歸順した遊擊隊の改編訓練は山西、紹遠、河南、湖北、江蘇、浙江、廣東に於て着々成績を擧げてゐる、又上海に中央軍官訓練團を創設し既に多數の卒業者を出し廣東にもその分校を設立した

一、財政 財政に關しては積極的に統一と整理に從事し練期以上の成績を收めた、又稅收の割合は關稅五二・五一、鹽稅五・二六、統稅二六・二九、物稅四・七三、所得稅〇・五三、其他一〇・六〇パーセントとなつてゐる

同時 湖南、湖北、江西三省の財政も整理によつて統一に歸し廣東では最早中央の補助を要しなくなつた、還都政府は更に豫算制度を確立し委員會の審査を經て執行しくべき有樣で、毎日稅金を增加捌取して已まないのである、即ち印紙稅は五〇パーセント、酒煙草稅も五〇パーセントを增徴し、産物の輸出には稅の上に稅を課してゐる、戰時營業稅、輸出通行稅と稱し浙東では一人一元乃至五元を徴してゐる、又

物價 の騰貴甚しく吉安では綿布一包二百十元、棉花百斤二百十元の例にも知られる通り各地人民が轉輾と流浪しその數三分の二に達した

一、事變前に於ては法幣の發行 總は十五億であつたが事變一年にして十七億に增加し更に一年を經て二十六億、昨年末には三十億を突破して、更に綾ん公債が發行されてゐる、戰爭で破壞して殘りの限りある生産力で無限の消耗に應ずるのである、法幣が今日尚多少の價値あるのは唯寄捐、雜稅と統制によるもので、即ち一點一滴の血を以て支持されてゐる、斯くの如きは毒水を飲んで渇を止めると同樣である、これ政府が中央銀行を設立して幣制を確立し金融を安定する必要ある所以とされてゐる

一、政府の對內外方策 としては先づ第一に日支和平運動の强化を計るにある、即ち東亞の運命は東亞民族の自決に存する、而して日支兩大民族の誠意合作に東亞を安定する唯一の樞軸である、當局勢を如何に改造し、新秩序を如何に建設するかは双方誠意討論すべきで、目下兩國代表間に積極的に進捗中である、次に對內策としては和平統一の促進にある、即ち一方に於ては積極的に建設し既に沿海諸省の南京政府統治內の諸地方を復興して政府の基礎を蒙固にすると共に和平反共の勢力を全國に擴大し潮死の重慶政府に對し和平攻勢を展開して全國の和平統一の促進を期してゐる(寫眞は汪精衛氏)

皇軍、中南支に活躍
蠢めく殘敵虱潰し擊滅

【漢口六日同盟】わが軍の猛攻に敵は早くも隨所に壊滅され續々敗走、わが軍は空驀呼應敗敵を猛進中で一部は宜昌北方十二キロの要衝南津關で敵約七千を撃滅、六日午後二時同地を占領した

【漢口六日同盟】わが軍は宜昌山嶽地帶に蟠踞宜昌奪還を夢見る敵六萬を潰滅すべく、六日早朝一齊に行動を開始、壮烈なる殲滅戰を展開してゐる

【〇〇六日同盟】中支艦隊報道部發表によれば朝江海軍部隊は十月三十日以來洞庭湖畔魚尾東北沿岸に出没する敵を一掃すべく出動、また木田部隊は扶南方南東右江右岸地區に出動それ／／南下中の敵都縣に猛爆を加へ、わが南寧撤退後蠢動を開始した敵に痛撃を加へた

【南支〇〇六日同盟】南支驀隊は五日午前南寧、柳州方面へ出動、また木田部隊は扶南方南東右江右岸地區へ出動それ／／南下中の敵都縣に猛爆を加へ、わが南寧撤退後蠢動を開始した敵に痛撃を加へた

一、山西、チャハル、河北省境作戰 敵遺棄死體九七二、捕虜七九、鹵獲品輕機四、その他多數

一、山西省軍部作戰 敵遺棄死體二七四、捕虜一八七、鹵獲品多數

一、共産軍掃蕩戰 は四日をもつて一應終了を見たが、現在までに判明した兩作戰の戰果左の通り

敵遊擊匪五千
わが軍門に降る
今後は綏靖軍として活躍

【漢口六日同盟】南昌軍官學校出身の成梁を隊長とする遊擊匪五千百廿名がこのほど正式に投降、去月卅一日咸寧東方卅五キロ金牛鎮において歸順式を擧つた、同部隊は廿五六才の青年をもつて組織され有力なる部隊で投降に際し重輕機七十四、迫擊砲八、小銃彈藥多數を携行し來つたが今後は綏靖軍として活躍することゝなつた

北支方面の共産軍掃滅
一應打ち切る

【北京六日同盟】十月中旬より行はれた山西省東部、山西陳学未、殷隊光らである

陸鷲引續き南支に活躍

【廣東五日同盟】陸鷲秋山部隊は五日午前南寧、柳州方面へ出動、また木田部隊は扶南方南東右江右岸地區へ出動それ／／南下中の敵都縣に猛爆ド・スール號でリオに向つた

◇…去る十日はヴアルガス大統領政權十周年記念「製鐵デー」で製鐵工業を網羅する各種の催しが行はれたが、同日ヴアルガス大統領は今後ブラジルの製鐵業は驚異的な發展をなすであらうと述べた

◇…アデマール・デ・バーロス執政官は副官カストロ・フイーリヨ少佐帶同クルゼイロ・スール號でリオに向つた

◇…南大河州ポルト・アレグレ市創立二百年祭は去る五日盛明けで各種の催しを行つて盛大であつた、ヴアルガス大統領は來る十二日同地に向ふ筈であるが、バーロス執政官も十四日ヴアスプで出發する

◇…アデマール・デ・バーロス執政官は副官カストロ・フイーリヨ少佐帶同クルゼイロ・スール號でリオに向つた

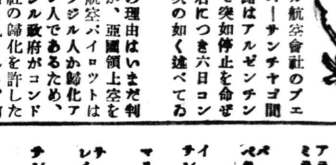
◇…去る十日はヴアルガス大統領政權十周年記念「製鐵デー」で製鐵工業を網羅する各種の催しが行はれたが、同日ヴアルガス大統領は今後ブラジルの製鐵業は驚異的な發展をなすであらうと述べた

上海の和平紙
新中國報
いよ／／創刊

【上海七日同盟】上海に和平派の新聞新中國報が創刊された、同紙の首腦部は政界の有力者七日付朝刊から發行された、同紙の首腦部は政界の有力者である

王政務委員長
奉天より歸燕

【北京七日同盟】華北政務委員長就任後用務のため訪日中だつた王揖唐は七日午後奉天より空路北京に歸着した



◇…コンドル航空會社のブエノスアイレス—サンチヤゴ間の定期航空路はアルゼンチン政府によつて突如停止を命ぜられたが、右につき六日コンドル社側は次の如く述べてゐる

停止命令の理由はいまだ判然しないが、亞國領上空を飛ぶ定期航空パイロットは生來のブラジル人か歸化アルゼンチン人であるため、最近ブラジル政府がコンドル航空會社の歸化を許したことが原因と見られる、何れにして近く再就航の運びとならう

◇…南大河州ポルト・アレグレ市創立二百年祭は去る五日盛明けで各種の催しを行つて盛大であつた、ヴアルガス大統領は來る十二日同地に向ふ筈であるが、バーロス執政官も十四日ヴアスプで出發する

◇…アデマール・デ・バーロス執政官は副官カストロ・フイーリヨ少佐帶同クルゼイロ・スール號でリオに向つた

伯英 自由 公定 伯米 一六$四〇 一六$三〇 伯日 — —

爲替(聖市 七日)

社告

左記の者御地方へ出張致させて居りますので故御配慮の程お願申上げます

リンペンナポリス間 中山貞男
奥ソロ方面 小畑秀雄
アラサツーバ ミランドポリス間 清地幸操
ペンナ・タルス間 弘本壽雄
イタケーラ間 チン・ミゲール 吉川光男
マリリア方面 片山英太郎
サンパウロ レイルウエイ一帶 杉田定美
サントスージュキア方面 山田實
ベストス方面 平尾七五三吉
モヂアナ線 秦泉寺一二
ブラジル朝日新聞社

求圖案家
建築設計圖案家 一名
希望者は左記技師へ
Sr. ALBIERI
R. Benjamin Constante, 23 5°. and. sala 58

求
料理人 一名
聖市ビネイロス區
フェルナン・ヂアス街
六三四番(二階)
ペンソン薩摩屋
男女何れにても可、優遇します

Cine Santa Helena
今日の映画 -Praça da Se-
來栖駐獨大使の三國同盟調印實寫
ソ芬戰爭實寫
◇死の偵察(ルリ・デステ主演)
午后二時より連續上映
晝2$000, 1$000, 夜2$500, 1$500

讓店
盛業中のキタングン家庭の事情の爲め好條件にて譲り度し
詳細は左記へ
Rua Barra Funda, 485

尋人 高田セチ樣に告ぐ
幸子さんが心配の餘り病氣さる、至急歸宅して下さい
アラサツーバ市 高橋

安瀬 ANZE MOLIZI
CAIXA POSTAL-300
ARAÇATUBA-N.O.B.
アグアリンパ 安瀬商會
農牧場 珈琲精選工場 アルマゼン部
ペルパライソ町 精米工場
アラサツーバ市 總取引事務所 精米工場 珈琲倉庫

自轉車並附屬品・在庫豐富
專業直輸 野村洋行
Rua Alameda Glette, 639 - S. Paulo Telephone 5-7718
七球ラヂオ 1:200$000 組國の鑿正確愛信

Ao ESPORTE INENSE
木村稜威雄 ITSUO KIMURA
Caixa Postal, 208 - Lins
N.O.E. - Est. S. Paulo
野球用具 陸上競技用具
其他一般運動具 服裝、旗、メタル調製

Dr. H. Fenicio
Av. S. João 530-6 and. Tel. 4-1183
淋病 如何なる淋病も五日で完全治癒
北米式ケタリング法(洗滌注射を用ひず)
廉價

Dra. G. Calasans
Cirurgião Dentista
歯科 荻原
ルア・セーレス二六六 中央メルカード前

時計店
Luiz Russo
直輸入・卸小賣
修繕、確實、正確
歯科用金寶却
R. Quint. Becayuva, 73
Phone 2-4498
SÃO PAULO

Escr. Comercial
Aureliano Barjas
R. Joaquim Tavora, 10
P. Prudente
一般法律事務
商業、農業上の帳簿整理
カーザ・渡邊へ御照會下さい

いよや かまぼこ
コンセレーロ フルタード二七

歯科
コンデ・ド・ピニヤール一番
ラボラトリオ・デンタリオ
岡山

結核 豫防に 治療に
ハーロー
發賣元 聖市 原商會 電話2012
取次所 日伯社 電話375

CASA PAIVA
Almeida & Almeida
Rua São Bento, 259
SÃO PAULO
棚ざらひ大賣出し
好機をお見逃しなく
是非お買上を！
お値段は破格です

大阪商船會社切符取次所
和歌山旅館
館主 佐野光一
新生社職業紹介所
所主 竹村之虎
R. Cons. Furtado, 273 S. Paulo
聖市コンセレイロ・フルタード街273
電話 2-8849

住き年・聖國同胞の榮譽

海外同胞代表者に天機奉伺の記帳差許さる

一般は顯忠府、新宿御苑拜觀

思召も畏し

（東京七日同盟）畏き邊りでは紀元二千六百年奉祝のため歸國した海外同胞に對し、特別の思召をもつて來る九日午前九時から顯忠府の拜觀、午後二時から新宿御苑の拜觀を差許され、茶菓を賜ると承るがさらに同日二時半から在住同胞各代表者に對して午前八時半宮中東御車寄において天機奉伺の記帳を差許される旨有難き御沙汰あらせられた

二千六百年奉祝 聖市の野球

日の丸辨當に舌鼓

超O・Bやチンピラも登場！

四チームで開く熱戰

來る十日の紀元二千六百年奉祝B軍の顔觸れを見ると、先ヅ田川投手が超張切でチンピラ鐵袖一觸とばかり數日來ウオームアップに餘念なくバックには瀬戸捕手、長谷川遊撃、蜂谷右翼、野村三塁、畑田二塁、藤平左翼、矢崎一塁、須藤中堅手など野心滿々、力やコンドルは全聖市軍の中堅どころが四人も顔を並べ識谷投手以下竹田、本田、上條、藤村などオヤヂチーム打倒を目指してゐる

また年後一時からはインディアン對ジャイアント第九回戰この一戰はインディアン二回負け越しになつてゐるので山岸、進藤、中林、谷垣など復讐の意氣に燃え、ジャイアントは小田、佐藤兩投手、竹田富捕手の好バッテリーで抑へるべく對峙して居り、輝く二千六百年を記念するに相應しい熱戰とならうなほ當日は佳節を記念するためリーグ所屬選手は勿論一般の焦點となつてゐる、超O・B軍の顔觸れを見ると、先ヅ田川投手が超張切でチンピラ鐵袖一觸とばかり數日來ウオームアップに餘念なく

球場で記念野球

球場で記念野球戰が行はれることになつた午前十時入場式、宮城遙拜の後熱戰が繰展げられるが、出場チームは大正小學校出身の少年チームのコンドルをはじめジャイアント（獨身組）インディアン（カザード組）それに超O・Bといふ風變りなところまで加はり、この四チームで勝敗まで決勝戰まで行はれる、優勝チームには立派なカップが贈げられてゐるので、いづれも水も洩らさぬ作戰をとらしてゐる

聖市野球聯盟主催の下

第一回戰は午前十時三十分コンドル對超O・B戰、何しろチンピラ軍といふ親爺

薯作り・惱みの種！

怨めしや歐洲大戰の余波

和蘭から「種薯」バッタリ止る

種イモの產地オランダからは年約三十万箱の馬鈴薯の種薯が輸入されコチヤだけでも十万箱から消滅してゐるが、今次大戰でオランダが獨軍に蹂躙されて以來バッタリその輸入が止り、これからはどうなるかと藝作りを惱ませてゐる

和蘭より輸入杜絶の結果、當地で何とか方法を講ぜねばならぬが先づ和蘭の廢返りものリオ・グランデ種はあまり變種をやるので系統を嚴重に分けねばならず、到底和蘭種には敵せず、馬鈴薯栽培者の惱みの種となつてゐる

パラナ・オーロ（獨乙のコンサーゲン種の變化したもの）カナダ種、あとはミナスその他のカイビーラで間に合はせてゐるが、これら

あるぜんちな丸

南米航路から消える

代船に「もんて丸」來航

商船が誇る海の女王……世界一週船あるぜんちな丸は先般

進め！

これだ!!農家の行く道

理想郷の建設へ

大家族主義の「農事組合」

新報、パストス移住地ウエオン一區第四組の十六家族が農家の隔離増進を目指して「農事組合」を組織、全戸ガッチリと手を組み一家族のやうに互に扶け合ひ、生產物の共同販賣は素より日用品の購入配給を行ふなど見事な「生活新體制」を確立して非常な好成績を收め、僅かの間に人々を驚かすほどの理想郷を現出せんとしてゐるが他山の石として一般農家へ「一問一答」のかたちでその組織を紹介して見よう

問　農事組合はいつから始まつたのですか

答　去る三月一日からです、紀元二千六百年記念事業として結成を見たのですが二月中に相談會を開くまでには、やはり五、六ケ月の準備期間がありました

問　規約を見ると存續期間は

答　先づ取敢えずそういふことにしたのです、始めは僅か十余家族でも議論が出てなか〳〵纏らないこともありましたから……、しかしいよ〳〵始めて見てだんだん精神的な融和が濃くなつて來ますと、中止どころか一層強固な團結となつて行くやうに思はれます

問　誰の主唱でしたか

答　少壯家長連が先に立つて奔走したことは事實です、しかし何んといつても組合の中堅をなすものは相當思慮分別のある年配の方ですからそういふ方面から

氣勢を擧げて

問　役員は選擧制ですか

答　組合員全部が役員ですから選擧といつても實際は指名委嘱でみなが適材適所でやるのです、しかし會計は何んといつても最も衆望ある人がやるにしたことはありません、まあ成るべく相當年配の方に御奮起を願つてこれを支持するといふ氣持ちが望ましいと思ひます

農事組合といふのは一つの大家族主義と考へれば例合にピンと來ます

問　どんな組織ですか

答　今のところ一番活動する部は商事部です、主として雜、珈琲の販賣と必需消耗品の購入をやりますが、組合員は勝手に單獨商談をしないことになつてをり必ず

組合に

問　あたりまえ

答　産業組合との間にどうしても何らかの原因で商談が出來ない時は双方了解のもとに他へ取引きすることに協定されてゐます、從來幸にして至極圓滑に產組を利用し棉は全部組合出荷も出來たし購買部利用による剩余金は各々家族貯金に繰入れ、農產物賣上げ一割天引貯金と共に十七コント四百ミルを今期サフラに殘し得たことは何んといつても大きな收穫と思ひます

問　農事部の活動狀況を一つまだお話しするところまで行つてをりませんが、休熱心な指導者が二、三あればどこでも必ず纏ると思ひます

役員は選擧制

組合員全部

産業組合に

組中總出で

問　やることになつてゐるから瓦と釘さへあれば家の一軒位ひまたゝく間に出來ます

問　農產物販賣天引一割の貯金をするために手許が苦しくなつたといふやうな譯はありませんか

答　かりに一部にあつても組の貯金から融通する制度がありますから別に苦しくないと思ひます、借金もあるが貯金もあるゾといふわけです

問　大賛成です、借金があつては貯金が出來ないなどゝ考へてゐる氣の小さい人にお手本として見せてやりたいところですね

答　借金はサフラに利子をつけて返濟する、皆なその心がけですから貯金は伸びる一方です、借りない人も澤山あります、そこで最も大切なことは借りないでもよい裕福な人は自分の余裕を組員に利用せしめ共々に前進せんとする共榮の精神をよく理解することと、同時に借りる人は如何なる理由があつても組員に

迷惑をかけないといふ堅い決心が必要

答　例へば產業組合から融通を受けるやうな時は組が共同の責任を負ひます、組員が單獨で勝手に借入れることは許されません

問　休閑地の利用について一つどうぞ

答　細長いロッテの上の方など西隣を草ではされてゐる所では單獨耕作をと及びもつきませんが、組を一つの單位として考へる時はわけなく解決出來ます、また個人で歩合作者を契約する場合でも、その人が組合員として入會を希望し組の規約を守る人ならば組から借入れかね出來ますからフオリネツセ問題も自然樂になるわけです

問　農事組合を作つて何か精神的な喜悅とかいつたものは、やはり五、六ケ月の準備期間がありました

問　規約を見ると存續期間は

答　先づ取敢えずそういふことにしたのです、始めは僅か十余家族でも議論が出てなか〳〵纏らないこともありましたから……、しかしいよ〳〵始めて見てだんだん精神的な融和が濃くなつて來ますと、中止どころか一層強固な團結となつて行くやうに思はれます

問　誰の主唱でしたか

答　少壯家長連が先に立つて奔走したことは事實です、しかし何んといつても組合の中堅をなすものは相當思慮分別のある年配の方ですからそういふ方面から

氣勢を擧げて

問　役員は選擧制ですか

答　組合員全部が役員ですから選擧といつても實際は指名委嘱でみなが適材適所でやるのです、しかし會計は何んといつても最も衆望ある人がやるにしたことはありません、まあ成るべく相當年配の方に御奮起を願つてこれを支持するといふ氣持ちが望ましいと思ひます

農事組合といふのは一つの大家族主義と考へれば例合にピンと來ます

問　どんな組織ですか

答　今のところ一番活動する部は商事部です、主として雜、珈琲の販賣と必需消耗品の購入をやりますが、組合員は勝手に單獨商談をしないことになつてをり必ず

産業組合に

問　あたりまえ

答　産業組合との間にどうしても何らかの原因で商談が出來ない時は双方了解のもとに他へ取引きすることに協定されてゐます、從來幸にして至極圓滑に產組を利用し棉は全部組合出荷も出來たし購買部利用による剩余金は各々家族貯金に繰入れ、農產物賣上げ一割天引貯金と共に十七コント四百ミルを今期サフラに殘し得たことは何んといつても大きな收穫と思ひます

問　農事部の活動狀況を一つまだお話しするところまで行つてをりませんが、休

組中總出で

問　やることになつてゐるから瓦と釘さへあれば家の一軒位ひまたゝく間に出來ます

問　農產物販賣天引一割の貯金をするために手許が苦しくなつたといふやうな譯はありませんか

答　かりに一部にあつても組の貯金から融通する制度がありますから別に苦しくないと思ひます、借金もあるが貯金もあるゾといふわけです

問　大賛成です、借金があつては貯金が出來ないなどゝ

迷惑をかけ

問　他から借入れをする場合は……

答　例へば產業組合から融通を受けるやうな時は組が共同の責任を負ひます、組員が單獨で勝手に借入れることは許されません

問　休閑地の利用について一つどうぞ

答　細長いロッテの上の方など西隣を草ではされてゐる所では單獨耕作をと及びもつきませんが、組を一つの單位として考へる時はわけなく解決出來ます、また個人で歩合作者を契約する場合でも、その人が組合員として入會を希望し組の規約を守る人ならば組から借入れかね出來ますからフオリネツセ問題も自然樂になるわけです

問　農事組合を作つて何か精神的な喜悅とかいつたもの

答　感じるところではありません、何かしら目標を與へられ今まで無關心であつた農事に對し農業はこれほど面白いものかといふ境地が拓けたやうに思ひます、人生に對する希望とか理想とかいつたものが刹つて來たやうに思ひます

問　家長方の外に何か婦人の集りでも

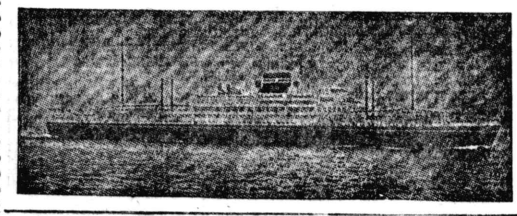
答　勿論主婦の集りもあります、組の團滿は家族同志の交渉によるところが多いので特にその方面に留意すると共に、婦女子の家計に對する興味と自覺を呼び醒し家計簿を記入させ毎月これを發表して各自冗費を除くやうに努力させたいと思ひます

十日午前十一時廿五分

「聖壽萬歲」を奉唱

一億一心 在外同胞も壽く聖紀祝典

【東京七日同盟】來る十日宮城前で擧行される紀元二千六百年奉祝式典の當日近衛首相の發聲で、全國は勿論海外にある同胞も聖壽を壽く萬歲を奉唱することになつてゐるが、この國を擧げての萬歲奉唱時刻は十日午前十一時廿五分と決定した



華々しい處女航海を終へその後アフリカ方面に戰局が擴大されるに及んで南阿廻りを中止し往復ともパナマ經由の航路に從つてゐたが、今回南米航路から他に廻される事に決定した由

結婚行進曲！

何んと呼寄移住者の三分の二は花嫁さん

本年一月より十月まで十ケ月間に於ける呼寄證明書發給數は累計三百七十二件六百三人に達してゐるが、一方呼寄移住者渡來數は去る二月二十四日サントス入港のブラジル丸で五十二名、四月二十日のアルゼンチナ丸五十六名、六月二十二日のブラジル丸九十二名、八月二十一日のアルゼンチナ丸六十名、十月二十二日のブラジル丸で六十三名と五船で總勢三百二十三人となつてゐる、ところがこの中三分の二は花はづかしい嫁御寮で占められてゐる

在聖邦人 四千五百六十三名

「聖市と外國人」斷然多い伊太利人

サンパウロ市は國際都市といはれるだけあつて種々雜多な外國人が居りその數は全サンパウロ市人口の約三分の一を占めて居り、六日のフォーリヤ・グ・ノイチ紙は一歩トルコ人のパイロに足を踏み入れると、まるで胸にフアツカを突き込まれて三十二回もえぐられる樣な聲の歌が聞えて來ると述べてゐるが、州統計局の調査によると次の通り日本人は二万五百六十三名となつてゐる

イタリヤ人　金、六三名
ポルトガル人　支、四五五
スペイン人　三、七三
ドイツ人　三、六三

瀬川技師殺害犯人

警察裁判へ

既報の如くピストル彈によつて共榮會カンポス發電所瀬川技師を殺害したカンポス・ゴエス、ヴアレ・ピメンタル兩刑事はその後引續き取調べを受けてゐたが、去る五日豫審を終り、豫審調書が作成されていよ〳〵近く警察裁判に廻されることになつた

人參の洪水か

産地レノポリス植民地の購入種子一千キロ

シリヤ人	八、七三四	
日本人	四、六五五	
その他		六三、六五五
合計		二八九、〇六六

カンポス・ド・ジョルドン附近からレノポリス一帶はニンジンの產地として知られてゐるが、最近邦人野菜作りの入植が激增してゐる、最近同地より來た人の話によると今年レノポリス植民地のみのニンジン種子購入は一千キロに上り、この種子の半分が生產されるとしても聖市、リオ野菜市場にはニンジンの洪水を來すだらうと

リンス再勝

對プロミツソン野球戰

プロミツソン對リンスの第二回都市對抗野球戰は去る三日明治の佳節を卜して午後三時よりリンス市青年會球場でプ軍先攻、多羅間氏の始球式で華々しく開始されたプ軍は第一回に惜敗してあり今度こそと復讐の意氣物凄く御大間崎氏夫妻を先頭に町を擧げての應援團を繰り出すやリンスまた多羅間氏を總大將に據職するなど試合は最終回まで息づまる樣な接戰を演じ觀衆を完全に興奮させたが一三A對一〇でリンス軍に再度勝鬨が擧つた

13A-10

プロミツソン齋藤投手は流石に老巧でチエンヂ・オブベースを心得、打者の弱點をよく衝いて、しば〳〵リ軍盤打者を惱ましたが、またリンス軍は藤倉中堅手よく守りよく打つてリ軍を勝利に導き森部投手若冠ながら鈴木（作）捕手を助けて三回よりよく最後まで完投した事は賞讚に値する

カラムルに降雹

去る四日午後一時頃より約三十分間にわたりソロ線バラグワス一驛カラムル一地方に降雹があつた、農作物は薺付け後間もない事とて被害は僅少である

御通知

來る十日午後一時から聖市タバチンゲーラ街三五、ミツワ旅館に於て圍碁例會を開催、引續き毎月第二日曜に例會を開きますから奮つて御來會の程を願ひ上ます

ミツワ旅館內
圍碁大天狗連
聖市タバチンゲーラ街三五番
電話二一三五一四番

**題題題

Redacção e Administração:
Rua Maestro Cardim, 1109
Teleph.: 7-3325 e 7-3326 - Cx. Postal 375
SÃO PAULO-BRASIL

BRASIL ASAHI
EX-NIPPAK SHIMBUN

DIRECTOR: José Yamashiro

ASSIGNATURAS:
PARA O BRASIL { Anno .... 60$000 / Semestre . 30$000
PARA O EXTERIOR - Anno. . .120$000
ANNUNCIOS — Temos á disposição dos interessados uma tabella completa de preços p/ annuncios nesta folha

Anno I | São Paulo — 6.a feira, 8 de Novembro de 1940 | Num. 90

NOTAS E EDITORIAES

O sr. Interventor Federal, dr. Adhemar de Barros, que, conforme noticiamos, seguiu anteheontem para o Rio de Janeiro, depois de assistir ao encerramento das festividades commemorativas do 10.° anniversario de Governo do Presidente Getulio Vargas, o que se verificará depois de amanhã, seguirá para o Rio Grande do Sul, onde, a convite do Interventor Cordeiro de Farias, assistirá ás commemorações do 2.° centenario da fundação de Porto Alegre.

***

"Um periodico da Bahia teceu algumas considerações sobre o facto de terem sido estabelecidas na organização do censo demographico, iniciado a 1.° de Setembro, apenas tres distincções do ponto de vista racial: branca, preta e amarella.

Pareceu ao jornalista bahiano que foi um erro essa exclusão do typo mestiço "da nossa quasi apurada raça de mulatos".

A' primeira vista o reparo seduz e parece razoavel. Basta, porém, attentar um pouco nos objectivos e na technica de uma operação censitaria, para que logo se reconheça a improcedencia da observação.

Um censo demographico não envolve, necessariamente, investigações ethnicas, nem poderia estar nas cogitações do serviço Nacional de Recenseamento proceder pseudo-scientificamente a uma classificação dermochromica da população brasileira.

A Divisão de Publicidade daquelle Serviço, dirigindo-se ao jornal de S. Salvador, ponderou, a proposito, que se tal classificação se desejasse, não seria necessario apenas o recenseamento dos mulatos. Seria indispensavel recensear tambem o mameluco, o cafuz e outros typos e sub-typos de mestiço.

Demais, a côr, por si só, não define nenhum typo ethnico, havendo por isso muitos pretos que se consideram mulatos, assim como mulatos que se consideram brancos, o que é razoavel se se levar em conta exclusivamente a côr da pelle.

Além de que os controvertidos conceitos de mulato, mameluco, cafuz, etc., são demasiado complexos para figurar num instrumento de collecta censitaria destinado á população inteira do paiz, seria aventuroso — mesmo que se tratasse de conceitos primarios, ao alcance da comprehensão intuitiva — grupar a população segundo a côr (brancos, mulatos, mamelucos, cafuzes, pretos, etc.) com base apenas nas respostas aos questionarios do censo demographico. Seria aventuroso porque taes dados, inevitavelmente de procedencia official, poderiam auctorizar commentadores apressados a tirar falsas conclusões sobre a composição ethnica do Brasil. Não é facil determinar, mesmo approximadamente, qual a percentagem de cada typo ethnico distincto, presente no actual effectivo demographico do nosso paiz. Essa determinação demandaria processos especiaes e tantas e tão minuciosas indagações, que tornariam impraticavel o censo geral.

Entretanto, consta do programma do Recenseamento Geral de 1940 um inquerito complementar, destinado a colher informações sobre os varios elementos ethnicos que, productos de miscengenação secular, intensa e extensa, integram a população brasileira. Para a execução dessa parte do programma, o S. N. R. empregará o methodo representativo, inapplicavel a grupos numerosos mas especialmente adequado a investigações em grupos reduzidos, que possam ser considerados boas amostras do todo. No caso em tela, por exemplo, os effectivos necessariamente heterogeneos de grupos escolares de pequenas cidades do interior parecem particularmente indicados.

O referido methodo baseia-se no postulado de que as qualidades encontradas em amostras representativas de um todo podem ser generalizadas a este todo, exactamente como faz o especialista que, mediante o exame de uma pequena amostra, classifica sem erro, o typo de café contido em determinado sacco".

(Communicado do S. N. R.)

A formação da esphera de commum prosperidade nippo-sino-mandchú

A cooperação do povo nesse sentido

Publicada a declaração do governo Imperial

Tokyo, 5 (D.) — O Gabinete Konoye que, logo após a sua constituição publicou, no dia 1 de Agosto do findante anno, a directriz basica do governo, accentuando a fundação da esphera economica oriente-asiatica e a intensificação da collaboração nippo-sino-mandchú, esteve adiantando os preparativos para a effectivação destes altos ideaes nacionaes.

Tendo todavia, concluido a elaboração do plano estructural referente á reorganização economico-financeira, publicou, após approvação pelo conselho ministerial, a seguinte declaração:

"Com a assignatura da triplice alliança, a orientação nacional nipponica, que pretende collaborar na gigantesca obra de instituir uma nova ordem internacional pela organização, sob a sua direcção, do bloco asiatico de prosperidade commum, entrou em uma nova phase.

O governo, afim de levar a effeito um plano perfeitamente dequado ao momento actual, elaborou os principios basicos para a reorganização economica nippo-sino-mandchú.

Em uma synthese admiravel, o referido plano, que doravante será fielmente concretizado, abrange todos os problemas de primacial importancia.

A orientação basica dessa nova politica economica é alcançar a commum prosperidade das potencias da esphera, pela applicação de novos systemas economicos e intima collaboração.

Em face da actual situação mundial, o commercio livre tornou-se inconveniente e á sua fallencia estamos presenciando nos dias de hoje.

O Nippon tambem deve abandonar quanto antes a antiga organização politica, economica e social e pôr em vigor novas instituições para substituil-as.

Todavia, o novo organismo deve visar o refortalecimento do potencial nipponico para que possa proporcionar a prosperidade e a tranquillidade, tambem a outros povos asiaticos.

A racionalização e augmento da capacidade productora do povo e a formação de uma grande zona pela applicação de principios semelhantes a outros paizes asiaticos, são a sua maxima preoccupação.

Outrosim, a consolidação da autonomia economica imperial, para resistir ás maiores difficuldades, deve ser o objectivo fundamental do novo emprehendimento.

Pelo auxilio decisivo do povo, transpondo as difficuldades que certamente acompanharão essas reformas e repellindo intrepidamente as pressões extrangeiras, o Japão deve fundar no presente decada, um novo systema economico forte e amplo.

Somente pelo estabelecimento de uma solida organização economica dirigida pelo Nippon é que as nações oriente-asiaticas, sobretudo China e Mandchukuo, conseguirão levantar o seu potencial economico".

Regressou a Tokyo o embaixador Togo - Declarações

Tokyo, 6 — O antigo embaixador nipponico em Moscow, snr. Togo, logo após a sua chegada a esta capital, foi recebido por altas personalidades. Destaca-se a entrevista que o mesmo manteve com o embaixador sovietico em Tokyo, snr. Smetanin. Segundo o embaixador Togo, a finalidade da politica russa consiste em recuperar todos os antigos territorios perdidos. As relações germano-russas — friza o snr. Togo — são solidas e portanto duradouras, devido á affinidade de interesses entre ambos os paizes. Certas noticias do peoramento das relações russo-italianas, segundo o diplomata nipponico, são destituidas de fundamento.

Os navios gregos poderão descer ferros em portos japonezes — Gesto amigavel dos poderes gregos

Tokyo, 5 (D.) — O Departamento de informações do governo japonez publicou hontem o seguinte communicado referente aos navios gregos com cargas destinadas ao Japão:

"Noticia-se que o governo grego sanccionara um decreto, segundo o qual todos os navios sómente poderiam descer ferros em portos de potencias neutras. Isto como consequencia do advento da guerra italo-grega. No emtanto, a grande maioria das companhias de commercio exterior do Japão estão se utilizando de dezenas de navios gregos no transporte de suas mercadorias. Nessas condições, o ministerio do Exterior do Japão estava entabolando negociações com as auctoridades gregas por intermedio da legação daquelle paiz em Tokyo, no sentido se permittir aos navios da Grecia com carregamentos de artigos destinados ao Japão a continuarem a sua viagem para os portos nipponicos.

As negociações obtiveram exito, pois o ministro grego junto ao governo de Tokyo, communicou officialmente aos poderes competentes do Imperio de que o seu governo baixara um decreto para que os navios em questão continuassem a viagem rumo ao Japão.

Em vista desse gesto amigavel do governo grego, o ministerio do Exterior do Japão garantiu que os referidos navios, depois de descarregarem as suas mercadorias nos portos japonezes, teriam toda a facilidade para deixarem o Japão".

Deixam o Japão os tennistas allemães

A visita ao Mandchukuo

Kobe, 14 (D.) — A Missão Tennistica Allemã, chefia a pelos srs. Henker e Giess, que, desde a sua chegada ao Japão, no dia 14 de Outubro proximo findo, fez numerosas demonstrações em varios centros, cooperando assim para a consolidação cada vez maior da amizade teuto-nipponica, partiu hoje de regresso á Allemanha, á bordo de um paquete da linha Mandchukuo-Japão.

Consta que a referida comitiva permanecerá por alguns dias em visita a varios pontos do Mandchukuo e China do Norte, voltando depois para Allemanha, via a estrada de ferro transiberiana.

Uma obra de arte doada á Universidade de Columbia

New York, Out. — Um pergaminho japonez pintado, de valor de mil dollares, representando o primeiro contacto do Occidente com o Japão, foi dado á Collecção Japoneza da Universidade de Columbia pelo "Osaka Mainichi" e pelo "Tokyo Nichi Nichi". A dadiva, de cerca de cinco e meio por oito e meio pés, foi collocada na Low Memorial Library.

Trabalho de Keichi Takeuchi, expoente da arte japoneza tradicional, o pergaminho, unico na separação do modo de pintar occidental e oriental, mostra um antiga colonia de commercio hollandeza e navios europeus junto a um sanctuario shintoista, um castello feudal e scenas da dança e da briga japoneza tradicional.

Voltou da China o general Suguiyama

Tokyo, 5 (D.) — Regressou hoje a esta capital o general Suguiyama, chefe do Estado Maior das forças imperiaes, que esteve em visita ao front, afim de observar "in loco" as actividades das tropas nipponicas.

Annuncios efficientes?
Só no "BRASIL ASAHI", jornal de maior circulação na Colonia Nipponica
Tel. 7-3326

A exhibição de "jornaes" nas cidades do Japão

Tokyo, Out. — Em todos os cinemas das seis grandes cidades do Japão foi requerida a exhibição de um ou mais "jornaes" cinematographicos em cada sessão. As cidades citadas são: Tokyo, Osaka, Nagoya, Kyoto, Yokohama e Kobe.

Os "jornaes" serão supervisados e editados por uma commissão composta de representantes dos ministerios do Interior e de Educação, do Departamento de Informações do Gabinete e dos proprios productores.

O noticiario telegraphico publicado pelo "BRASIL ASAHI" é fornecido pela Agencia Domei, japoneza.

AS DAINISEI INTELLECTUAES

(5)

Antonio Shimomoto é um nisei de pequena estatura, thesoureiro da Liga Esudantina de São Paulo e aluuno do segundo anno da Faculdade de Medicina. Abordado sobre o assumpto, contou:

— "Curso superior não é para dainisei moça. A coisa é mais puxada, para ser de mulher. Ellas poderiam, quando muito, seguir o curso normal e ir ensinar num grupo para creanças. Para mim, a mulher não necessita de cultura. Basta que saiba as coissas indispensavel ao lar: cozinhar, lavar, costurar, arrumar a casa. Para a dainisei moça, só o curso gymnasial bastaria. Aquella que fosse minha esposa, deveria ter as qualidades que citei, sendo dispensavel o curso gymnasial ou o normal. Nós saberiamos nos entender perfeitamente. Eu não quero muito". Antonio Shimomoto fallou bastante. Quisemos resumir o que disse.

***

Luiz Yassuyuki Hirata é do primeiro anno da Secção de Physica da Faculdade de Philosophia de São Bento, e do C.P.O.R. Elle não acha inconveniente que as dainisei moças ingressem em escolas superiores. Sobre o casamento, nada teve para dizer". Relato de, — M.

Raios de Luz

Dalgumas casas das margens, varias mulheres chinezas se viam esvasiando os vasos da noite nos potes parados. Toda vez que via aquelles potes de lacca vermelha, tinha arrepios e vontade de vomitar pois que tinhamos feito o mais tragico engano em relação áquelles terriveis mas artisticos receptaculos. Depois que desembarcamos, observamos que toda casa chineza tinha um daquelles bonitos potes de lacca e nós, pobre ignorantes, immediatamente o usamos como vasilha de arroz e de agua. Como é que iriamos saber da sua finalidade real? Ora, alguns delles são dourados e lavrados e muitas vezes vimos repousando nos altos dos guarda-roupas e mesmo nos creados-mudos. Podem imaginar como nos sentimos quando soubemos que estavamos usando pinicos communs para a nossa comida!

Arre! Senti como se estivesse comendo fezes chinezas.

Quatro ou cinco creanças estavam jogando com moedas de cobre, na ponte. Quando nos aproximamos, gritaram: "Me dá um tostão?" Dei-lhes algumas moedas e depois de me agradecerem apressadamente, voltaram mais uma vez ao jogo.

A casa de banho era um edificio imponente, com um grande portão de ferro, no qual havia bandeiras do Governo Reformado da China e do Japão. Fóra uma taboleta annunciando que era uma casa de banho tanto para chinezes como para japonezes; soldado japonez dez cents por banho; e exhortação para os japonezes e os chinezes se congregarem para debelar o communismo. Ao lado da entrada um jornal pregado na parede — O Diario da Nova Chekiang — que fôra publicado logo depois de entrarmos na cidade. Em lettras garrafaes, no cabeçalho: — "O Communismo é o inimigo da civilisação e deve ser eliminado".

Por esse jornal soube que o Governo Municipal da Nova Hangchow fôra estabelecido poucos dias depois da nossa entrada na cidade.

Paguei dez cents a um chinez sentado numa especie de guichet e fui ao vestiario. Numerosos soldados estavam immersos no grande banheiro fumegante. Takuwan e Narazuké estavam contentes como creanças ao lavarem seus corpos. Eu estava na agua, com os olhos fechados, quando alguem disse: "Como vae?" olhei em volta e dei com a cara sorridente do cabo Aoyagi que já não via ha tempo. Falamos de varias cousas mas elle não tocou na pintura e quando perguntei-lhe a respeito, disse: "Agora não pinto. Esta guerra mudou tanto eu como minha arte. Gostaria de conversar consigo qualquer dia e um dia irei ao seu alojamento e levarei SAKÉ".

Quando voltei ao alojamento encontrei tudo muito alegre e em meio ao riso ouvi a voz de uma mulher. Os homens estavam todos reunidos ao redor do fogo e de uma jovem chineza. Hatano voltou-se para mim e disse: "Trouxe um mensageiro para confortal-o". Vi logo que ella era a filha do seu amigo ledor de sorte. Suas roupas eram de bom gosto mas ella não era de modo algum bonita; tinha o nariz bem feito e a pelle branca. Os homens não tinham visto uma moça ha tanto tempo que ella se tornou o centro de attracção e lhes parecia o ser mais bonito da terra. Ella era, na verdade, uma flôr entre aquelles guerreiros barbudos e Hatano fôra bem recompensado com SAKÉ por ter sido tão bom de trazel-a. Estava sentado exhalando bafos de SAKÉ sobre todos e falando com os modos de alguem fazendo um discurso: "Ella é a filha mais velha do advinho mas sua irmã menor é muito mais bonita. Essas duas moças são nossas amigas e espero que não façam mal". A moça falou em chinez com Hatano, num tom rapido e borbulhante, e ambos riram. Depois ella começou a murmurar e logo rompeu em lagrimas. Olhamos uns para os outros admirados. Nomura abraçou-a e disse: "Diga-me o que é que ha e farei tudo para agradal-a", e voltando-se para Hatano, "Vamos, diga para ella o que eu disse." Nomura estivera muito abatido por ter perdido sua barba no anno novo mas nessa occasião elle se alegrara pois sabia que Alli era o sugeito mais elegante e respeitavel. A moça disse: "Estou com medo da guerra e espero que acabe logo. Meu irmão foi levado para ser soldado, contra a sua vontade e não sabemos o que aconteceu com elle. Todas as pessoas ricas fugiram de Hangchow, mas nós os pobres, só podiamos confiar no céo. Durante dez dias vivemos na maior escassez de comida e por quatro dias só de agua. No fim nem isso conseguiamos obter. Felizmente fomos salvos pelo exercito japonez, mas não posso deixar de chorar quando penso no meu irmão".

Flor e Soldados

(HANA TO HEITAI)

ROMANCE — 15 — Ashihei Hino

Calculei que ella devia ter menos de vinte annos de modo que seu irmão deveria ter perto de dezesseis. Nunca pude esquecer os dois rapazes no caixão perto de Kashan. Imaginava no que teria acontecido ao irmão daquella moça.

Um novellista talvez escrevesse que perecera sob as balas dos japonezes. Tentei afastar sua preoccupação do meu espirito pois ha tragedia em qualquer front de guerra. Nós todos sentiamos quasi o mesmo que ella; tinhamos passado por tragedia e apesar disso ainda continuavamos em meio ao sofrimento e ao horror. Mas todos aquelles homens, de rostos innocentes, estavam conscientes do que ella tinha soffrido. Depois de discutir commigo mesmo cheguei, gradualmente, á conclusão de que tinhamos que encarar os factos e que era inutil para a pobre moça continuar chorando aquillo que já era passado. Sem duvida estava fóra de questão aconselhal-a a sentir desse modo e acceitar o irremediavel; a sua unica consolação estava em chorar. Hatano disse: "Ella está ficando hysterica. E' melhor eu leval-a para casa". E levou-a dizendo. "Trouxe-a para consolar os soldados e agora eu é que tenho que confortal-a". "Besta erotica", gritaram os homens para Nomura, "seria melhor nós termos nos barbeado".

Eu estava em cima, falando com Nakamura, que estava muito melhor, não delirando mais, quando Yamada gritou de baixo: "Chefe de secção, está aqui aquelle vendedor de TOFU anti-nipponico".

Encontrei-o com um velho chinez mirrado. Takuwan estava servindo de interprete. Quando appareci, o velho, de olhos profundos, fez uma reverencia profunda, sua cabeça quasi tocou o chão, e olhando-me, disse: "Obrigado, obrigado".

Fiquei-o olhando, como hypnotisado e me perguntava como é que se poderia ligal-o ás phrases anti-nipponicas encontradas em sua casa.

Continúa